



イタリア GESSI 社製  
キッチン用湯水混合水栓 **ジャスト**  
(ホース 1.5mタイプ) GS-20577.031-17D15M  
(ホース 2.0mタイプ) GS-20577.031-17D20M

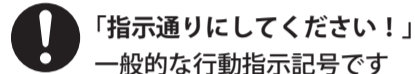
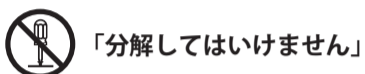
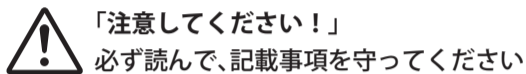
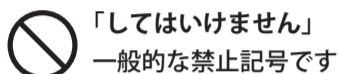
## 施工説明書

本施工要領書、及び取扱説明書の指示に従った場合のみ製品保証の対象となり、この製品に定められた性能とその安全性を保証するものとします。

### 1 安全上の注意

#### 1. 記号の説明

- 以下に示した注意事項は状況によって重大な結果(傷害・物損等)に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- 取り付け工事は、水道法、その他の地方自治体の法令、および地方自治体の条例、規則など各種法規に従って行ってください。
- 施工完了後、正常に作動することを確認し、取扱説明書にそって使用方法、お手入れの仕方をお客さまに説明してください。



#### 2. 注意事項

- 修理技術者以外の方は、水栓本体内部を分解しないでください。  
故障や水漏れの原因となります。
- 製品に強い力や衝撃を与えないでください。  
故障や水漏れの原因となります。
- 湯水を逆に配管しないでください。  
水を出そうとしたのに湯が出て、やけどをすることがあります。
- 同梱の部品以外は使用しないでください。  
故障や水漏れの原因となります。
- 寒冷地では使用しないでください。  
凍結による故障や水漏れは保証の対象外です。
- 温泉水は使用しないでください。  
温泉成分により器具が腐食する等の恐れがあります。
- 給湯器の温度設定は80℃以下をおすすめします。  
不意の出湯によるやけど防止になります。
- 各接続部は確実に接続してください。  
確実に接続されていないと、水漏れの原因となります。

### 2 本製品の仕様と使用条件

給湯器設定温度	80℃以下
使用可能水質	水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度	0~40℃ 但し、内部の水を凍結させないでください。
給水、給湯接続	G 1/2
圧力条件	0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧) 給水圧力≥給湯圧力
取り付け条件	水栓取り付け穴:Ø35 カウンター厚:6~40mm

#### 給水・給湯圧力

最低必要水圧	0.05MPa(流動圧)
最高水圧	0.75MPa(静水圧)

\*給水圧力と給湯圧力の差を小さくしてください。温度設定が容易になります

\*給湯圧力は水栓直前における流動圧です

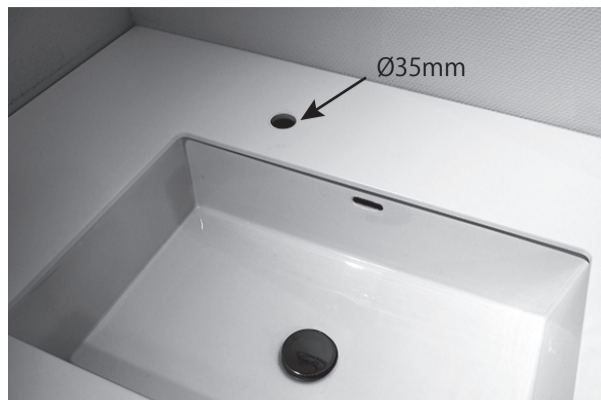
#### その他の条件

\*給水・給湯圧力が0.75MPaを超える場合は市販の減圧弁などを使用し、0.2~0.3MPa程度に減圧してください。

\*給湯に蒸気は使用できません。

### 3 本体取り付けの前に

#### 1. 取り付け穴について

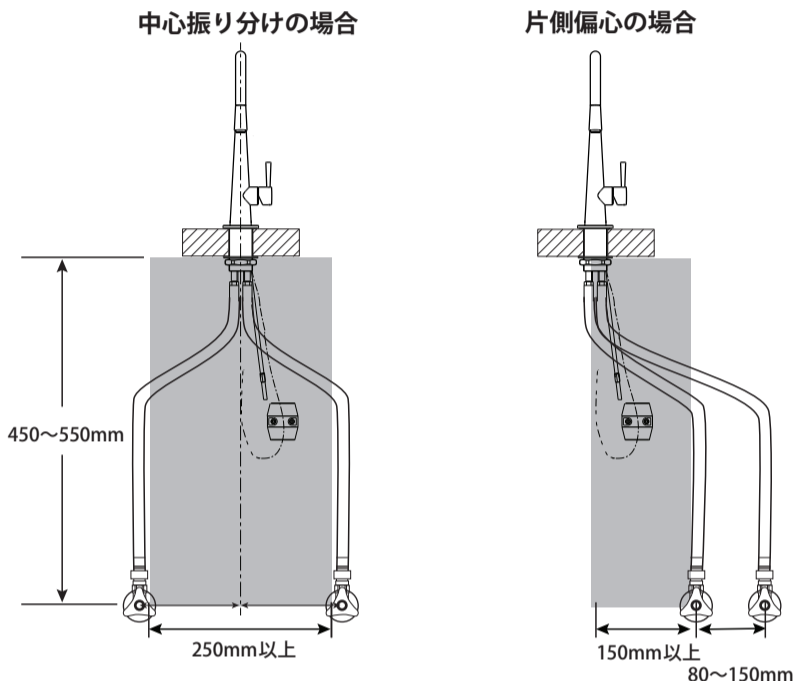


①シンクまたはカウンターに  
Ø35mmの穴を開けてください。  
カウンターの厚さは40mm以下  
です。

ステンレスシンクに取り  
つける場合、補強が必要  
になります。

#### 2. 給水、給湯の配管について

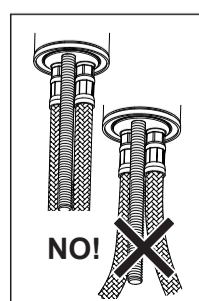
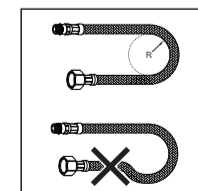
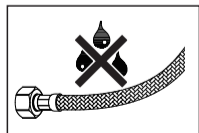
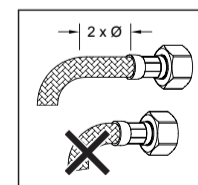
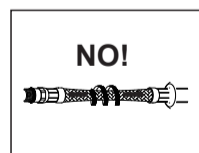
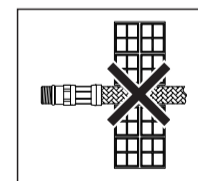
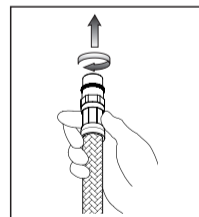
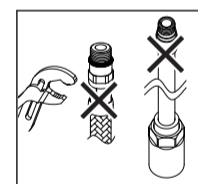
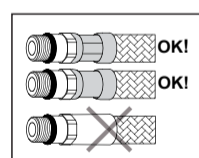
給水管、給湯管がシャワーホース、シャワーホース用重り、及び排水トラップとの干渉を避けるため、各止水栓は器具の中心より150mm以上、天板より450~550mm離して設置してください。



グレーの範囲に配管が来ないように湯・水の止水栓を配置してください。

### 4 施工上の注意

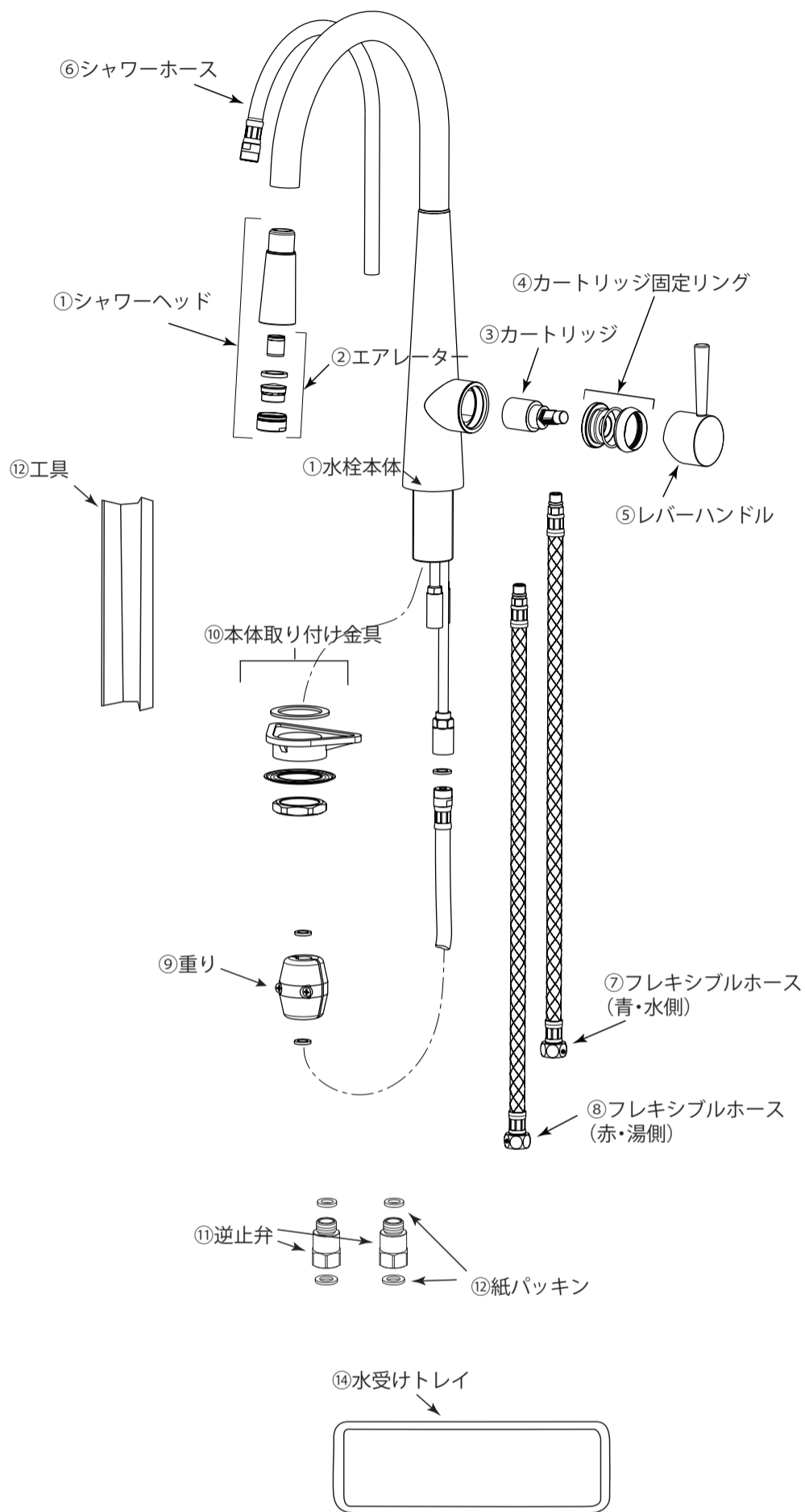
器具を取りつける前に必ず給水管内のごみ、溶接時の破片や麻糸またはその他の異物が管内に残らないよう完全に除去し給水管をよく洗い流してください。給水管の不完全な洗浄や一般の給水網を通して混合水栓の中に異物が混入するとワッシャーまたはワッシャーリングの破損の原因となることがあります。



## 5 梱包内容

梱包には写真のパーツが含まれています。開梱時にご確認ください。

GS-13915.031



③ 付属の締め付け用金具でナットを締めます。

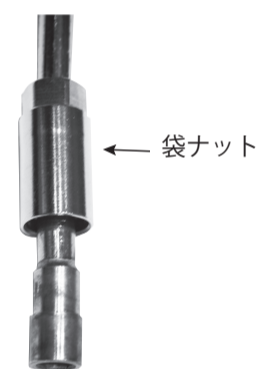


④ スパナでしっかり締め付けてください。

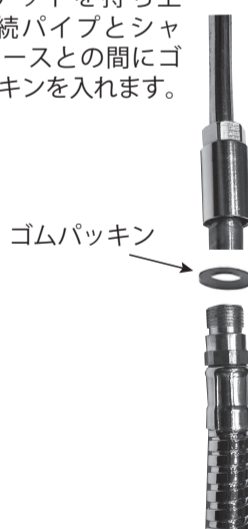
## 2. シャワーホースの接続



本体から出ているパイプにシャワーホースを接続します。詳細は次の通りです。



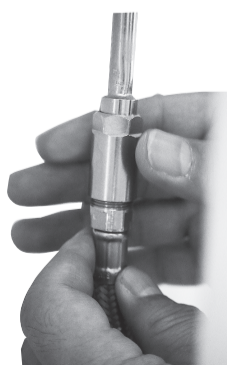
① 袋ナットを持ち上げ、接続パイプとシャワーホースとの間にゴムパッキンを入れます。



② 袋ナットを上げた状態でゴムパッキンを挟みます。



③ 袋ナットを下ろし、手でしっかり締めます。



④ 手でしっかり締めた後、シャワーホースがよじれないようにスパナ等で押さえ、袋ナットを1/2~1回転増し締めます。(締め付けトルクの目安は3~4N・mです) 締め足りなかったり、締めすぎると水漏れの原因となります。(ゴムパッキンはEPDM)

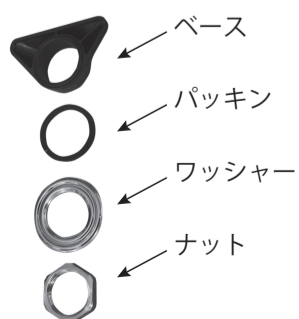


## 6 施工手順

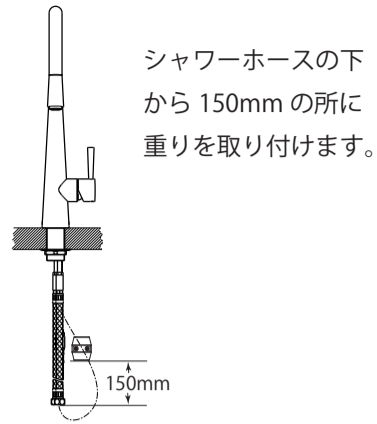
### 1. 本体の取り付け

① 本体の下から台座を差し込み、その後、取り付け穴にホース等全体を差し込みます。取付の際、落下等でシンク等に傷をつけないようご注意ください。

② 止め金具を使って、下から本体を手で止めつけます。金具の順番は次の通りです。

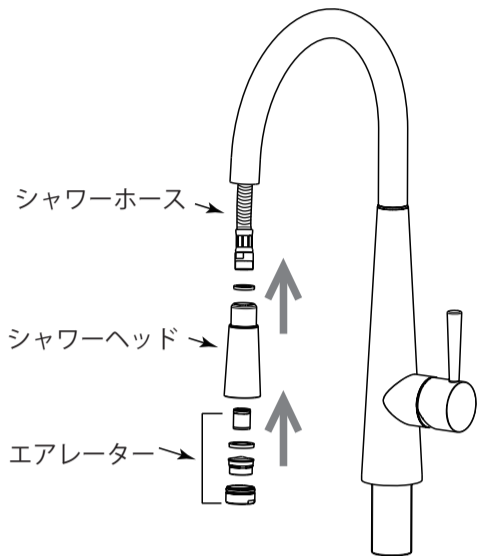


### 3. 重りの取り付け



### 4. シャワーヘッドの取り付け

- ① シャワーホースを引き出します。
- ② シャワーホースとヘッドの間にゴムパッキンを入れます。
- ③ スパナーで締めます。  
このとき、ヘッドに傷がつかないように、樹脂等でコーティングされたスパナーを使用してください。
- ④ シャワーヘッドにエアレーターをねじ込みます。



### 5. 逆止弁の取り付け

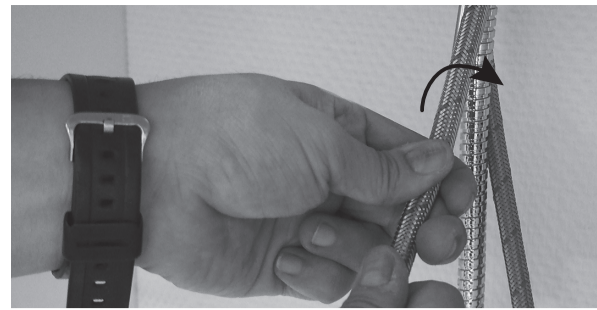
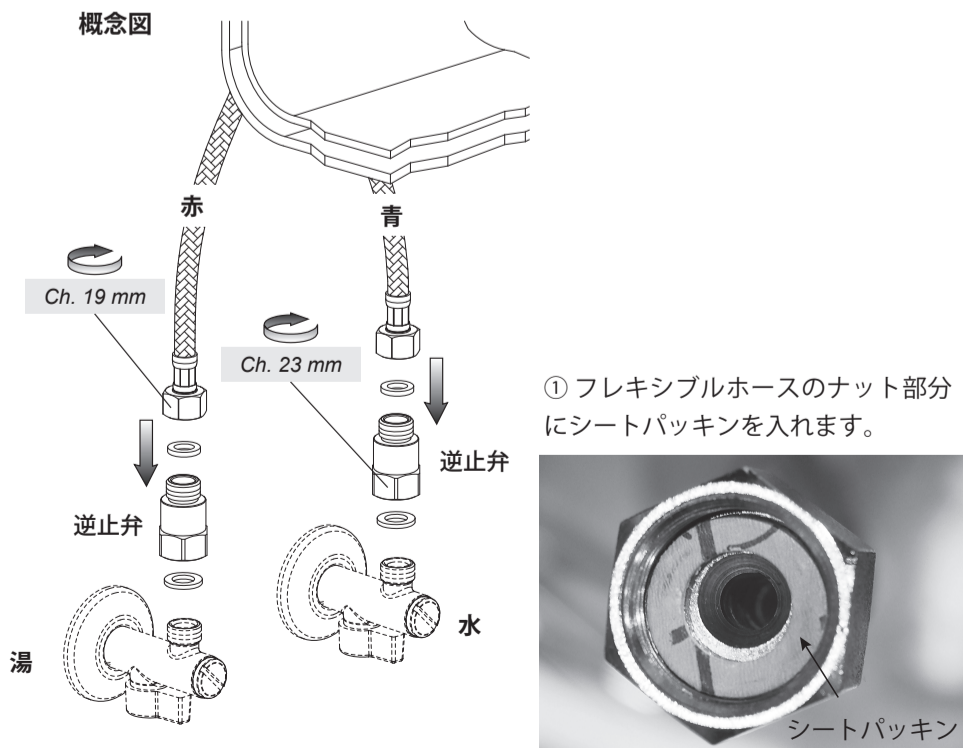


- ① 止水栓と逆止弁の間にシートパッキンを入れます。

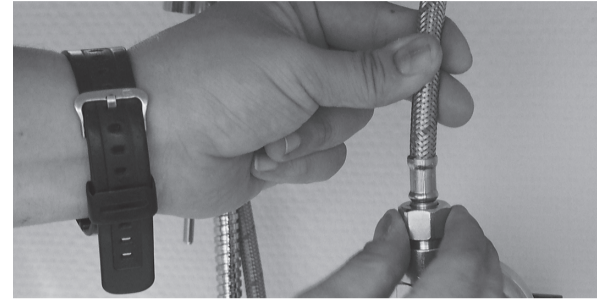


- ② レンチまたはスパナーでしっかり締めます。

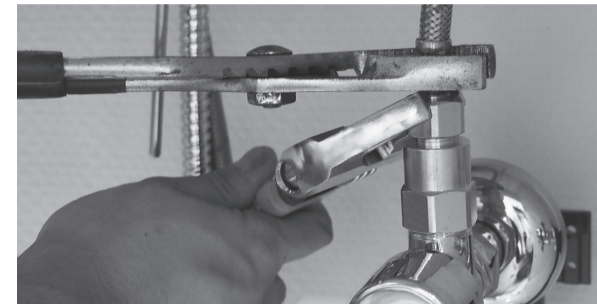
### 6. 給湯・給水管の接続



- ② フレキシブルホースを矢印方向にねじります。



- ③ その状態でナットを手でしっかり締めます。



- ④ フレキシブルホースが動かないようにレンチ等で押さえながらナットをスパナー等で固く増し締めします。
- ⚠ 一度締めたシートパッキンをもう一度使うことはできません。  
新しいものと交換してください。

### 7. ト水受けトレイの設置



まれにシャワーホースを伝って水滴が落ちることがあります。そのため、シャワーホースの下に同梱の水受けトレイを置いてください。

### 8. シャワーホースガイドの設置

シャワーホースの動きが悪い場合は必要に応じて写真のような市販のホースガイドを設置してください。



## 7 引き渡し前の確認

工事が終了したら、配水管を接続し、エアレーターを清掃し、湯・水の止水栓を開け、各部に水漏れがないか、動作は正常かを確認してください。  
そして、下記の事項を点検した後、お客さまに引き渡してください。

現象	点検内容	処置
流量が少ない	圧力は十分か？	②使用条件参照
	止水栓は十分開いているか？	流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
	配管途中に大きな抵抗はないか？	
水が止まらない	ゴミかみはないか？	
	キズはないか？	
	ゆるみはないか？	
希望の温度が得られない	圧力は十分か？	②使用条件参照
	流量調節はよいか？	流量の調節
	エアレーターにゴミ詰まりはないか？	エアレーターの掃除
水栓本体がガタつく	ゆるみはないか？	⑥-1 本体の取り付け参照
ハンドルがガタつく	ゆるみはないか？	⑥-1 本体の取り付け参照
シャワーホースがスムーズに収納できない	ホースがねじれたり、配管と干渉していないか？	⑥-8 給水、給湯の配管参照

**ADVAN** TEL. 0120-301-211  
お客さまサポートセンター

アドヴァンは24時間365日対応のサポートセンターにおいて  
●施工方法についてのお問い合わせ ●商品についてのお問い合わせ ●補修部品についてのお問い合わせ、ご注文 ●止水、パッキン交換、一時的な水栓交換等の緊急処置等に対応しています。